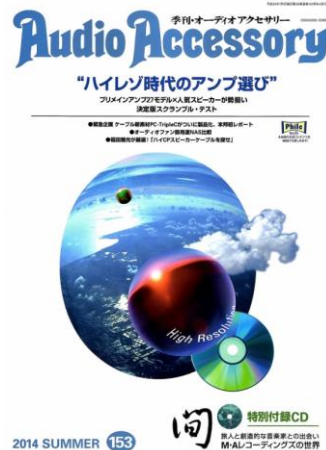




17/18

USB DACとしても優れた性能を持つ DSD対応のポータブルアンプ

Text by 高橋 敦 Atsushi Takahashi

ポータブル分野のラインアップを積極的に拡充するADLから登場の、USB DAC/ポータブルヘッドフォンアンプ。昨年登場のX1と筐体は共通だが、以下の2点に大きな違いがある。ひとつはAndroid機器とのUSBデジタル接続、その他のポータブルプレーヤー等との光デジタル接続に対応すること。一方、iOS機器とのデジタル接続には非対応となったが、そちらが必要な方はX1の方を選ばよい。もうひとつはUSB DACとしての対応形式に

音色や帯域バランスに癖はなく
組み合わせ機材の個性を引き出す



ADL A1

ポータブルアンプ
¥49,800(税別)

Specification ●USBチップ:VIA VT1736●DACチップ:High-performance CIRRUS LOGIC CS4392K●対応サンプリング周波数:PCM→44.1/48/88.2/96/176.4/192,DSD→2.8/5.6MHz●ヘッドフォンアンプ:Texas Instrument TPA6130A2●オペアンプ:TI-LME49726●ヘッドフォン出力レベル:70mW(12Ω),80mW(16Ω),38mW(56Ω),9mW(300Ω)●入力端子:3.5mmステレオミニジャック×1,光デジタル×1,USB(Aタイプ)×1,USB(ミニBタイプ)×1●出力端子:3.5mmステレオミニジャック×2,光デジタル×1●サイズ:68W×16.5H×118Dmm●質量:約150g●取り扱い:フルテック(株)

DETAILS

背面に備えられたスイッチで入力切りの切り換えを行う。AndroidではUSB(Aタイプ)、Opticalでは光デジタル、USB DACではUSB(ミニBタイプ)の端子を用いた接続となる



DSD最大5.6MHzが追加されたこと。従来通りのPCM192kHz/24bit対応と合わせて、現状のハイレゾ配信音源のほとんど全てに対応する。
大型ハイエンドヘッドフォンに対してもおおよそ問題ない駆動力を発揮。ポータブルはもちろん、デスクトップリスニング環境の核としても不足はない。音調としてはややウェットで、音色のしっとりとした落ち着きが特徴。しかしそれにも過剰ではなく、基本的には音色にも帯域バランスにも大きな癖はなく、組み合わせるイヤフォンやヘッドフォンの個性を素直に引き出してくれる。